

## 要 点 録

会議の名称	第2回田村駅周辺整備基本構想策定懇話会																				
開催日時	平成27年12月25日（金）午前13時30分～15時00分																				
委 員	<p>出席者</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">仁連 孝昭</td> <td>公益社団法人 滋賀県環境保全協会 会長</td> </tr> <tr> <td>井 恒昭</td> <td>社会福祉法人石龍会 理事長</td> </tr> <tr> <td>川北 広</td> <td>田村自治会 自治会長</td> </tr> <tr> <td>川崎 他家廣</td> <td>長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役社長</td> </tr> <tr> <td>西田 英一郎</td> <td>田村町まちづくり委員会 委員長</td> </tr> <tr> <td>松居 繁隆</td> <td>長浜・米原まんなか夢のまちづくり会議</td> </tr> <tr> <td>松本 博文</td> <td>滋賀県文教短期大学 理事長</td> </tr> <tr> <td>若林 浩文</td> <td>長浜バイオ大学 理事長</td> </tr> <tr> <td>三浦 良勝</td> <td>長浜土木事務所 所長</td> </tr> </table> <p>欠席者</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">畑下 嘉之</td> <td>社会福祉法人青祥会 理事長</td> </tr> </table>	仁連 孝昭	公益社団法人 滋賀県環境保全協会 会長	井 恒昭	社会福祉法人石龍会 理事長	川北 広	田村自治会 自治会長	川崎 他家廣	長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役社長	西田 英一郎	田村町まちづくり委員会 委員長	松居 繁隆	長浜・米原まんなか夢のまちづくり会議	松本 博文	滋賀県文教短期大学 理事長	若林 浩文	長浜バイオ大学 理事長	三浦 良勝	長浜土木事務所 所長	畑下 嘉之	社会福祉法人青祥会 理事長
仁連 孝昭	公益社団法人 滋賀県環境保全協会 会長																				
井 恒昭	社会福祉法人石龍会 理事長																				
川北 広	田村自治会 自治会長																				
川崎 他家廣	長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役社長																				
西田 英一郎	田村町まちづくり委員会 委員長																				
松居 繁隆	長浜・米原まんなか夢のまちづくり会議																				
松本 博文	滋賀県文教短期大学 理事長																				
若林 浩文	長浜バイオ大学 理事長																				
三浦 良勝	長浜土木事務所 所長																				
畑下 嘉之	社会福祉法人青祥会 理事長																				
事務局	<p>長 浜 市：今井都市建設部長 中川理事兼都市計画課長</p> <p>都市計画課：山口副参事 隼瀬主幹 田中主事</p> <p>(株)地域計画建築研究所 山本氏 田中氏</p>																				
<p>1 あいさつ 都市建設部 部長</p> <p>2 第1回懇話会の結果について 資料に基づいて説明</p> <p>3 議事</p> <p>① 田村駅周辺整備基本構想ワーキング部会（第1回及び第2回）のまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づいて説明</li> <li>・主な意見や内容</li> </ul> <p>・ワーキング部会で、街灯の設置についての意見が出されたか。 →第1回目のワーキング部会で意見が出されている。</p> <p>・ワーキング部会のメンバー構成や年齢層は。 →自治会役員、田村町まちづくり委員会、各組からの協議員で構成されており、第1回は17人、第2回は15人となっている。年齢層は40～60代が多い。女性は30代、40代で、各回2人ずつの参加であった。</p> <p>② 田村駅周辺におけるまちづくりの方向性（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づいて説明</li> <li>・主な質疑・意見等</li> </ul> <p>・もう少し大きなエリアの中で物事を考えてはどうか。</p> <p>・前回の懇話会で、市場が移転した場合のシュミレーションを描くことを了解いただいたと思うので提案させていただくと、起点となる高層ビル等、1階から3階までが若者が集うような商業施</p>																					

設や、その施設の2・3階部分をマンションのような住居スペースにするなど、夢のあるものを描いてそれを施策に盛り込んでいけたらと思う。

- ・将来的には3千人の乗降客を見込むような構想を作成し、JRに示し要望できれば良い。
- ・イメージが出てくるようなキャッチフレーズを市民が共有することが大事。どんな内容で成長都市としていくのが大事な課題である。
- ・田村町のワーキング部会には、若い世代に入ってもらって、若い人の考えるビジョンが見えるようにしてはどうか。
- ・資料にある「3つの課題」は、田村だけではなく長浜市全体に言えること。定住人口を増やしていくためにはどのような要素があればよいのか。田村町としてはどこに焦点をおいて人口を増やしていくのか。長浜全体としてもそうであるし、場合によっては米原も含めてどのような政策をもってくるのか。これらを概念的におさえた形に出していかないと、田村町という焦点はぼけてしまう。
- ・ワーキングの意見で取り入れるもの、取り入れないものの定義をしておかないと、ワーキングでの意見が尊重されないことになる。
- ・田村町の市街化区域の年齢層毎の人口がどうなっているのか。小学校、中学校に通う子どもの人数、働いている層の人数、高齢者の人数、人口流出の状況などデータとしておさえ、食い止める、場合によっては増やすなど、施策としてこの点が欠落しているからここをフォローすればできるのではないか、ということを見せていかないと、資料にかかっている方向性は何の実現性も持たない。
- ・ここに行く人が魅力を感じてくれないと人は住まないし来てくれない。現在、田村に住んでいる方との共存をどういう形で果たしていくのか、受入側も理解を示していただくことが必要。そうすることで、長浜や田村の特色も出てくると思うし、こういう形の移住もあるということにもつながると思う。
- ・資料には第1ステップ、第2ステップとあるが、最終目標がない。人口目標などはその一つ。
- ・1回目の懇話会の中で、市場も移転も可能であるという話をさせていただいたが前段がある。当初は体力もあり移転できたが、市場をつくるにしても多額の費用がかかり、諸条件が揃えばということでお話させていただいたもの。
- ・5年先、10年先、20年先を見通して、市場が移転したら人口増加につながるのかというところが、この計画の中で必要であると思う。ワーキングでは現状を見て意見が出ていると思うが、改善すべき点について、何年か先を見据えたまちづくりまで突き詰めて、20代、30代の若い人に入ってもらって意見交換していただくような方法が望ましいと思う。
- ・駅をどのように活用していくのか、バイオ大学、文教短大の学生の若さを地域にどう還元していくか、琵琶湖をどう活用していけるのか、という点が論点と感じている。
- ・米原であろうと田村であろうと、駅の近くであれば環境はかわらないと思う。長浜の中でももう少し便利な所へ移ろうと思っている人は、環境さえ整っていれば、わざわざ米原あるいは彦根に行かずともここで定住されるのではないか。受け皿、住環境を整えるということが重要であるということと、他府県から来ている学生が何か活動できるようなことが必要ではないか。また、琵琶湖など観光・レジャーもうまくPRすれば、交流人口を増やすことにつながるのではないか。
- ・市場は、イベントをすると多くの人が集まってくるが、普段はそれほど賑わいもないし、体力もないという話もあった。田村の構想を考える時に市場がどうなるのかについては大きな問題になってくる。

- ・日常はトラックで荷を持ってくるので、市場が今後どうしても続けていくのであれば、もっとよい場所で発展できる規模でやっていただくことも考えられる。市場は田村の一等地であり、かなり面積もある。経営も3セクなので、市場の振興についても、もう少し長浜市自体が、今の場所でよいのか、発展する可能性があるのかどうか、田村駅周辺の発展、まちづくりの中で、いっしょになって真剣に考えていただけないかと思う。
  - ・色々な施策を考える際は、資料の構想区域くらいの方の意見も取り入れながら、検討いただきたい。
  - ・長浜市が将来的に全体を通して考えているかが疑問である。チャイルドハウスには田村町内の園児は多くないし、寺田、下坂中からも多くない。ところが今度、下坂にもう一つ保育園が建つが、このあたりには園児はほとんどいない。将来的に人口も減っていく中で、どういう意味でつくっておられるのか。将来的に地域を描いて、いずれは人口が増えるだろうと思ってつくられるのか。
  - ・住宅だけで構想が終わってしまったら、いろいろなものがどんどん入ってきて、せっかくのまちづくり構想がなくなってしまうのではないか。
  - ・人口目標まで話があったが、そこまでいかなくとも、この地域をどのように発展させていくのか、田村を中心とする長期的な地域の目標を明確にし、共有することが必要。目標を実現していくために、どのような要素が必要なのか。その中には市場をどうするかということも含めた要素が入ってくると思う。次に、そういう要素を実現するために、どのような努力が必要なのか。例えば、市場の将来計画とこの地域の発展計画とがうまく合った形で進めていく必要がある。市場も老朽化して設備投資しなければならぬ場合、一旦設備投資するとそれを無駄にすることはできないので、そういう計画とうまくリンクする形で具体的な手立てを考える必要がある。
  - ・若い世代が魅力をもって住めるまちにしていくためにはどうすればよいのか、もう少し具体的な要素に詰めていく必要がある。駅の改築は田村町にとっては非常に大きな課題と思うが、改築しようとするならば、駅の改築が可能となるような乗降客数をどういう形で確保するのか、確保できるのかということ具体的に検討していく必要がある。
  - ・必要な要素が全て出てくると、それを実現するために、地元では、大学では、市場では、行政では何をしていくのかということが、順番に明確になってくると思う。これらを進めるための戦略を作っていく必要がある。
  - ・まちづくり構想案は、今の段階ではなかなか整理できるような所まで議論が煮詰まっていない、検討課題が今日のところは出たという感じである。当初、懇話会としては、ここまで委員の意見を聞いて、行政がまとめるというかたちで進んできたが、今日でまとめ終わりということにはなりそうにない。事務局の意見を聞きたい。
- 全体のスケジュールの検証を含めて検討させていただき、改めて座長に相談させていただきたい。
- ・キーになるのは市場の場所の問題。キーとなるのであれば、財政面を含め市として卸売市場をどのような形で支援し、どういう形で動くのかについて示さないと、ただ単に動きますよというだけでは具体案にならない。このあたりも今後詰めをしていく必要がある。
  - ・実際動くとなれば、公設となれば市が費用をもつことになるので、場所の問題も含めて、長浜市だけでなく米原市との関係などいろいろな形の中で、動かしやすい環境を提示し、提案をしていかないと絵に描いた餅になってしまう。
  - ・市場の移転については、市場内でも十分議論する時間が必要になってくるので、その点、市の支援をお願いしたい。

- ・懇話会というのはあくまでも懇話会なので、将来、進めていくのであれば協議会にしていく必要があると思う。協議会であれば、各関係機関とも話ができる。このあたりも含めて検討されたい。
- ・区域内の道路整備について、住宅をつくろうと思うと道路がないと建たない。町内だけでは決められないし、既に業者が来て買いたいという話もあるので、できれば、こういう所に道路をつけていくなど、市の方から示してもらいながら進めていけたらと思う。
- ・土地は個人のものであるので難しいかもしれないが、業者が来て歯抜けにならないよう、方向性が出るまで町内で待つていただくような配慮をしていただければと思う。公共的にできれば一番よいと思う。

#### 4 その他

次回の懇話会は、座長と相談しながら、改めて日程の調整をさせていただく。

以上